



第20回入学式が行われました

4月6日（火）午後、入学式が行われ、20期生80人が晴れて村上中等教育学校の生徒としてスタートしました。

当日は、PTA会長、同窓会長、後援会長を来賓としてお迎えし、保護者、教職員同席のもと、厳粛かつ清新な雰囲気の中で式は行われました。

校長は、式辞で「将来の夢や目標を目指して、小さな自信を積み重ね、失敗を恐れず、努力を続けてほしい」「『感謝』（ありがとう）、『反省』（すみません）、『敬意』（はい）と『思いやりのところ』をもつ人間になってもらいたい」と話をしました。

新入生の代表は「6年間でたくさんのことを学び、経験を重ね、楽しみながら様々なことを身に付けて社会に通じる人間になりたい」「新入生全員が輝かしい夢を持っています。その夢に近づくために一日一日を努力し、楽しみながら大切に過ごしてきます。時には壁にぶつかることがあるかもしれませんが。そんな時は仲間と支え合い、はげまし合いながら勇気をもって立ち向かっていきます」「私は細胞について興味をもっています。私たちの体の中ではまだ働きのわからない細胞があるそうです。私はそのような細胞たちのことを研究し、なぞを解明して、患者さんたちの体に負担をかけずに楽に治療できるようにすることが夢です。実現するためにしっかりと頭と体と心をきたえていきたいと思います。」と誓いの言葉を述べました。

新入生たちは、緊張の中にも晴れ晴れとした顔、凜とした雰囲気、決意を新たにしていました。

